

問題【社会】

飛鳥時代以降の文化に関して以下の問いに答えなさい。

- (1) 飛鳥時代に聖徳太子によって建てられた寺を何と言いますか。
- (2) 奈良時代に聖武天皇によって全国に建てられた寺を何と言いますか。
- (3) 奈良時代に盲目になりながらも来日した僧は誰ですか。
- (4) 平安時代に天台宗を伝えたのは誰ですか。
- (5) 平安時代に藤原頼通によって建てられた建物を何と言いますか。

豆知識 雑学コラム

文化の歴史、流れ覚えて

今回は日本の仏教について見ていきます。歴史は好きだけど、文化は苦手という人も多いのではないのでしょうか。流れがつかみにくく、暗記頼みになりがちです。平安時代まで紹介しますので、少しでも流れを覚えるきっかけになればと思います。

仏教は6世紀半ば、渡来人を通じて日本に伝わってきます。豪族は古墳を造ることから寺を建てることで権威を示そうとし、聖徳太子の時代になると日本で最初の仏教文化が栄えました。法隆寺や釈迦三尊像などが飛鳥文化の代表ですね。

奈良時代になると、聖武天皇によって伝染病や災害などから、仏教の力によって国家を守ろうとします。全国に国分寺を、都には東大寺を建てる流れもあり、仏教と政治の在り方が強く結びつきます。この時代は、正倉院や盲目になりながらも来日した鑑真が有名ですね。

しかし仏教の力が大きくなり、貴族と僧の政治争いが激しくなったことで、桓武天皇は長岡京、平安京へと都を移します。また仏教と政治が密接になりすぎないように、今までとは違った仏教を取り入れる動きがおこります。これにより新たに受け入れられた仏教が、最澄の天台宗と空海の真言宗でした。天台宗と真言宗は、山奥での学問の習得や厳しい修行をする宗派で、貴族の間に広まります。精神修行として燃え盛る炎の前で祈願する護摩行を知っている人もいるのではないのでしょうか。

唐の衰えにより遣唐使が停止されると、日本の風土にあった国風文化が栄えます。漢字から仮名文字が作られたことで古今和歌集の編纂、紫式部や清少納言などの女性の作品が登場するのも国風文化の特徴ですね。また、念仏を唱えて阿弥陀如来にすがり、死後に極楽浄土へ生まれ変わるという浄土信仰がおこります。平等院鳳凰堂がその代表です。

このように人物と関連するものをただ覚えようとするのではなく、しっかりと流れを掴んで覚えるようにすると、より効果的に覚えられます。まずは「流れ」をつかんでいきましょう！

【解答】

- 真言宗 (5) 鑑真 (4)
東大寺 (3) (聖武天皇) 聖武天皇 (2) 法隆寺 (1)